

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	クラセ				
事業所番号	4650001193				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市中山2丁目13番13号				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択) ホームページ ↓ 2にURLを記載
	2. 内容 https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	岩下 まり子
連絡先 (TEL)	099-263-3211

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラセ		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 15日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R7年 1月 15日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の中で様々なプログラムを提供させていただき、個別支援も行いながらお子様の状態やペースに寄り添った支援を提供できるような環境を整えている。	5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」)を踏まえた計画を作成し、お子様一人一人に適した支援を提供できるような環境を整えている。	保護者様と定期的に情報共有を行い、職員間で更に連携を図りながらお子様に適した計画を作成している。また、活動プログラムが固定化しないよう工夫し、小集団の中でも個別的に支援ができるような療育を目指す。
2	ABA療育を取り入れたり、専門講師(積み木教室、太陽スポーツ)等専門講師による療育、アドバイスにより、職員が知識を深めることが出来ている。	職員がABA療育を学び、加えて外部講師による療育も取り入れ、より専門的な支援を行っている。 また、専門講師による療育や支援に対するアドバイスをいただくことで、職員が知識を深め支援の質を上げることができている。	専門講師の意見を踏まえ職員の知識が深まっているが、より確実に支援に活かせるよう職員間で密に情報共有を行う。
3	毎月1回の生活体験を通して公共のマナーを学び、お子様の成長に繋げられるプログラムを作成している。	1年を通して、お買い物体験や市電貸切体験、警察署見学、空港見学、ジョイフルお食事体験等様々な公共機関での体験ができるプログラムを作成している。	普段家庭では体験できない内容を中心に企画し、お子様方が意欲的に参加していただける計画を実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子様と活動する機会が少ない。	地域に向けたイベント(夏祭り、ウィンターフェスティバル等)を行い、地域の子ども達に参加していただいているが、保育所や認定こども園等との交流の機会を作ることが出来ていない。	今後幼稚園・保育園の先生方と密に連携を図り、信頼関係を構築し交流する機会を作ることができるよう努める。
2	毎月1回の親子療育への参加率が低い。	親子療育を毎月1回行っているが、お仕事をされている保護者様も多く参加率が下がってきている。魅力ある企画(誕生会、季節の行事、イベント)を実施しているが、参加される保護者様が固定しており伸び悩んでいる。	引き続き親子で参加したくなるような企画を立てることと、早めに行事の日程と内容を保護者様に広報することで、お仕事の都合をつけて参加していただくこともあるため今後も徹底していきたい。
3	送迎希望のお子様が増え、保護者様同士の交流や職員とお話する機会が減ってきている。	共働きのご家庭が増え送迎への需要が高まっているが、その分保護者様同士や職員とお会いする機会が減っている。支援内容は連絡帳にて随時共有できており、定期的に面談や親子療育の際にお話させていただいているが、以前に比べ交流する機会が減ってきているように感じる。	交流の機会を増やしてほしいというご意見もいただいたため、今後懇談会等の機会を増やし、保護者様同士・職員とのコミュニケーションを図り信頼関係の構築に努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	クラセ
------	-----

公表日 2026年 2月 27日

利用児童数 39

回収数 19

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19				広々としたホールでの演劇や活動ができ ており、子供も走り回れて楽しめている ようです。	活動スペースは基準を満たしたスペース となっております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		2		職員配置は、配置基準を満たした配置数となっ ておりますが、足りないと感じられる場面があつた と認識しております。必要に応じて職員数を調整し ておりますが、今後もお子様に対して安心して支 援させていただける環境を整えてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構築された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			1		お子様の支援に関しまして、絵カードを活用し、わ かりやすい情報伝達を心がけております。設備の標 識もイラストを用いております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18	1				環境整備に努め安全・清潔な場を提供し ておりますが、今後も清掃等徹底してま いります。活動に応じて療育室、遊戯室 を使い分けて活動しております。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	15	3	1			ケース会議にてお子様一人ひとりの特性に応じた支 援について、情報共有と支援の統一を図らせていた だいておりますが、今後更に専門性を高めより良い 支援に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17			2		支援プログラムを元に提供する内容を職員間 で協議し決定しております。公表はホーム ページにて公表させていただきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	19					モニタリングを行う中で、お子様、保護 者様のニーズを汲み取りながら計画を作 成してまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	19					児童発達支援ガイドラインに基づき、お 子様にあった目標・支援内容を設定し計 画を作成しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1				児童発達支援計画を職員で共有し、計画に 沿った支援を行っておりますが、今後も保護 者様とわかりやすくお伝えしてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	19					運動遊び、制作、音楽遊び等の活動に加え、生活 体験も充実できるよう工夫しております。引き続き お子様が楽しんで参加し成長に繋がられるプロ グラムを作成してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	11	3		5		現在交流する機会はほとんどありませんが、今後地 域のお子様と活動する機会（交流イベント等）を 作り活動していけるよう検討しております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	19					新規利用の契約時に説明させていただ き、変更があった場合は随時お知らせさ せていただいております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					6か月ごと、または目標や支援内容に変更があつた 場合に児童発達支援ガイドラインに基づき作成した 計画を示し説明させていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	18			1		年2回の家族会にて保護者様向けの研修会を行って おります。また、今年度は保護者様参加していただ けるABA研修会も開催いたしました。今後も随時 情報提供を行ってまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	19					定期的な面談を始め、申し送り時、お電話、連 絡帳等を通じて保護者様とお子様の状況を共 通理解できるよう努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			1		年2回の面談に加え、必要に応じて保護者様との面 談や助言をさせていただいております。面談は随時 受け付けておりますので、必要な際はいつでもお声 かけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					療育研究会等で支援の姿勢等については 学んでおります。今後とも共感的な支援 に努めてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3		3	もう少し機会を増やしてほしいです。	交流の場として、定期的に親子療育を実施さ せていただき年2回家族会を開催してござい ますが、今後回数を含めて検討させていただき 保護者様同士の交流が図れる機会（療育診 断・茶話会等）を設けてまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19				できるだけ迅速に対応できるよう努め、他関係機関とも連携を図ってまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				今後お子様の意思を尊重しながら、保護者様には申し送り時や連絡帳等でわかりやすくお伝えしてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	2		今年度よりInstagramにて活動の様子を発信させていただいておりますが、頻度は低いため今後増やしていきます。活動費等は毎月書面にて行事予定費を謝布させていただいております。自己評価の結果はホームページにて公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				個人情報に関しては書籍にて施設して保管しており、写真に関しても保護者様の同意を得て掲載しております。今後とも取り扱いには十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17		2		マニュアルは作成しておりますが、今後は保護者様にもわかりやすく周知できるよう徹底してまいります。訓練は毎月1回実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19				毎月1回、地震・火災・不審者対策等の避難訓練を実施しております。訓練日は月間行事予定表に記載しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18		1		作成した安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	1	どんな小さなことでも速やかに状況や処置のご連絡をいただいております。そして本人の心までにも丁寧に対処し報告をしていただき大変ありがたいことだと思います。ありがとうございます。	温かいご意見ありがとうございます。事故・怪我が発生した際は、直ちに緊急連絡先に連絡をさせていただいて状況説明を行い、必要であれば病院受診を行っております。今後も徹底してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1			今後も安心感を持ってお子様が通所していただけるよう環境整備を行いながら、安心・安全な支援に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			お子様・保護者様が安心し、楽しく通所していただけるよう支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1		本当にいつも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。先生方がとても真面目に一生懸命子供と向き合ってくださってるのを感じています。おかげさまで我が子も少しずつ成長しています。いつも先生方のおかげでなんの心配もなく子供を運ぶ事ができています。いつもありがとうございます	温かいお言葉いただき感謝いたします。今後も保護者様からのご意見を大切にしながら、温かく丁寧な支援を行い、発達支援、家庭支援、地域支援も進めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	クラセ	公表日			
		2026年 2月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			基準を満たしたスペースとなっておりますが、お子様の状況によって机等の位置を配慮しながらスペースを確保しております。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○			基準を満たした職員配置数となっておりますが、個別対応が必要なお子様に対しては職員数を調整して支援しております。今後も職員のスキル向上に努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		療育では朝の会や活動中に絵カードを使用し、視覚的支援に力を入れております。	静・動の活動内容に応じて部屋を変えて環境作りを努めています。また、支援の妨げにならない程度に壁等の壁面等工夫し、明るい雰囲気作りにも力を入れています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		朝、夕の掃除担当事業所を決め、掃除の滞りのないよう工夫しています。また、掃除が終わったら済の表示をして確実に清掃を行っています。	療育前、療育後の清掃だけでなく、倉庫等の管理責任者を置くことで衛生管理を徹底しています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			お子様が癇癇やパニックを起こしてしまったり、情緒面で落ち着かない場合はすぐに別部屋にて対応し、落ち着ける環境作りを努めております。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			毎月1回職員会議時に業務改善事項があれば協議し、その他随時改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			毎年1回保護者様向け評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見を事業所間で共有し業務改善に活かしております。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			上司との1on1ミーティングを実施しそこで意見を把握していることと、毎月1回職員会議時に意見を吸い上げるよう努めております。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今年度は行っておりませんが、今後は検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員個々で興味のある資格取得に取り組んでおります。	毎月1回療育研究会を実施し、療育に関する知識を深めています。その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有後計画案を作り、保護者様、職員との検討会議を経て本計画とする流れで作成しております。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援管理責任者を中心に事業所の全職員でアセスメント(検討会議)を実施した上で、児童発達支援計画を作成しています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			計画案を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為その中で共有しています。また、計画の変更があった際も随時共有を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			ガイドラインに基づいた番式で児童発達支援計画を作成しています。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			児童発達支援ガイドライン(5領域)に基づき支援内容を設定しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの立案時、担当者だけでなく何名かで検討しながらプログラムを立てています。	活動内容の立案は職員間で協議し共有しながら、お子様方の成長に繋がるプログラムになるよう工夫しております。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	活動プログラムの立案者を毎月交代制に固定化を防いでおります。	毎年新たな取り組みをしたり、毎月の活動がマンネリ化しないよう常に情報収集活動しながらプログラムを策定しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		常に職員間で協議しながら、お子様の状況にあった支援を提供しています。時に集団活動の中でも個別対応が必要である場面もある為、随時対応に配慮し、児童発達支援計画にも反映するよう努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎朝他事業所も合同で朝礼を行い、必要な内容を共有しています。特にお子様の支援に関わる内容は丁寧に発信するようにしています。	朝礼時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後、事業所の職員全員で情報共有できないときは、次の日に滞りなく伝達しております。	職員間で支援の振り返りを行い、お子様の状況、保護者様からのご意見、ご相談内容等を共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	個別の記録は電子連絡帳に毎回詳しくお子様の様子を記載しております。	個別の記録と業務日誌を記載し、人数、活動内容、所感をもれなく記録し支援の改善に繋げております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		更新時期でなくても、お子様の目標達成状況に応じて見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を始め、直接支援している保育士・児童支援員が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連絡会に南部保健センターや行政の方へ出席していただいたり、併用先の幼稚園・保育園や就学先の学校とは情報交換を行っております。
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併用利用児は年2回情報交換会を行っており、就学児に関しては就学先との連絡会を行っている。方法は、来館による療育参観やズーム会議、併用先へ訪問にて実施しております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めております。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○	年3回児童発達支援事業所に向けて、事業所連絡会を開催している。内容は、公開療育や研修会、事業所の課題等の意見交換会を行っております。	南部地区連絡会を開催しており、他事業所と連携を図るようになってきていますが、今後も関係作りを進めてまいります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		ABA療育を学んだり、嘱託医から療育に関するアドバイスをもらい支援に活かしている。外部研修にも随時参加しております。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の子ども部会には法人代表で1名出席しており、内容は共有しております。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流の機会はありませんでしたが、今後検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談、申し送り、連絡帳、お電話等で保護者様とお子様の状況や課題について情報共有を行っております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		5回コースでペアレントトレーニングを行い、家族支援に繋げることが出来ました。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者様とのやり取りの中で、保護者様の様子や連絡帳での文面から悩んでいる様子が伺えた際は、お電話や面談にてお話を聞いています。また診断等出た際も面談にて結果をお聞きしております。	引き続きご家族からのご相談には迅速に、かつ適切に応じられるよう努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		交流の場として、毎月1回～2回親子療育を実施、年2回家族会を開催しております。今後も保護者様同士の交流が図れる機会（療育参観・茶話会等）を設けております。兄弟同士の交流の機会はまだまだありませんが今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際は、職員間で共有し、迅速な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋がられるよう動いてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	今年度インスタグラムでの発信を開始し、活動の内容をより詳しく発信しています。	毎月1回行事予定表にて活動内容等をお知らせしております。また随時広報誌やブログを更新し活動風景を発信しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	SNSに関して保護者様に常に同意書をいただきました承を得ながら進めています。	個人情報は厳重にて施設にて保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	お子様には絵カードを中心に視覚的支援を取り入れております。	お子様には絵カードの視覚的支援を、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	夏祭り、移動動物園等に地域の方々も参加していただけるよう広報し、多くの方に喜んでいただけました。	法人全体で毎年サマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にも来ていただいております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	緊急時対応マニュアル等各種マニュアルを整備しております。	マニュアルは整備できておりますが、保護者様にメール伝達ツールにて送付し確認いただけるよう検討しております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	保護者様には行事予定表にて避難訓練日をお知らせしております。	BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時に保護者様に詳しく聞き取りを行い、利用申込書にも詳しく確認する項目を記載し、濡れの内容確認しております。	発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		新規面談時にアレルギーについて聞き取りを行い、必要なお子様には医師の指示書をいただき栄養士とも共有し個別対応を行っております。変更があった際にも解除届を提出していただいております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	今年度はお子様のバス降ろし忘れ、熱中症等支援に必要な内容をピックアップして計画を作成しています。	安全計画を作成し、随時ケース会議にて職員間で研修や訓練を行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		BCP等はご家族へ向けて掲示していますが、取組内容の周知方法を今後検討してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	毎週ヒヤリハットを所長会議資料に記載し、他部署とも共有しております。	ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月1回虐待防止委員会を開催し共有している。法人内の全体研修時にも虐待について取り上げております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様についてはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童支援計画書に記載しております。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラッセ(保育所等訪問支援事業)		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 30日		～ 2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2026年 2月 10日
○従業者評価実施期間	2026年 1月 30日		～ 2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 30日		～ 2026年 2月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問後、同日中に保護者様に訪問支援内容が共有できている。	訪問したその日に一度保護者様に情報共有させていただき、再度報告書にてご確認いただく流れができていますので、支援員も漏れなくご家族と共有できている。	訪問支援員、訪問先担当者、保護者様が集まったのカンファレンスの開催を今後積極的に働き掛けながら、可能な限り集まったの報告・カンファレンスを実施していきたい。
2	幼稚園・保育園との連携(幼保連絡会等)を図っている為、保育所等訪問の受け入れに関して協力的である。	年に2回の情報交換を行いながら、併用先の保育園や幼稚園との情報交換で密な連携を図る事が出来るように努めている。	保育所等訪問支援を継続して行う中で、明確なビジョンや支援の共通理解がさらに深まるよう、実施計画を立てた上でスケジュール調整を行う。
3	対象児の保護者様と支援内容を共有できていることから、随時保護者様の方から訪問してほしいというご要望をいただき、訪問の機会に繋がっている。	保護者様からのご要望があれば、可能な限り早い段階で訪問を実施するよう心掛けている。また、対象児の保護者様からのお話の中で幼稚園での課題があるとお聞きした際は、併用先とやり取りをし訪問に繋がっている。	今後できるだけタイムリーに訪問できるように、訪問支援員以外の職員にも協力をもらい、訪問体制を整えて実施できるように努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の回数が十分確保できない場合がある	十分な職員体制を整えて訪問したいが、体制上の問題や訪問先の行事が重なる時期によっては回数が少なくなってしまうこともある。	訪問先と十分に調整を行い、訪問時間を工夫することで療育に支障のない形で訪問できないか検討する。但し、訪問先と活動時間が重なってしまう事が多いため十分な調整が必要である。
2	専門的な訪問支援員の助言、迅速な訪問先での課題の解決	対象児の目標や訪問先、療育側とお互いの課題の共有は十分にできるが、訪問先での課題の解決に繋がられる助言ができていないか。職員の専門性を高めていく必要がある。	可能な限り訪問回数を増やし、訪問先と信頼関係を築くことで相談・助言しやすい環境ができれば、より良い支援、課題解決に繋がる。また、職員の知識を深め、より専門的な助言ができるよう努めていく。
3	訪問先との信頼関係の構築	保育所等訪問支援の前には訪問先の担当者様とやり取りを行っているが、訪問に関する事以外に対象児の課題に対して、より連携を密にしていける必要がある。	訪問に関する事だけではなく、普段から細かい事項を共有することで、訪問先と信頼関係を構築でき訪問先での課題の共有がよりスムーズにできよう支援に繋がる。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
クラス (保育所等訪問支援事業)		2026年 2月 27日				2名		2名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。				○		訪問時には訪問支援に支援する教材等整えて訪問しておりますが、今後は保護者様にもわかりやすく提示させていただけるよう検討いたします。		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	○					面接室は個室でありプライバシーに配慮した作りになっております。		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	○					事業の目的や内容については、契約時に丁寧に説明させていただいております。		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。		○				訪問支援員、保護者様、訪問先と調整を行っておりますが、保護者様のご予定が合わない場合もあり申し訳ございませんでした。今後は可能な限り保護者様への相談を密にまいります。		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	○					職員体制が整う日を中心に訪問しております。		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○					職員のスキルアップとして、毎月1回療育研究会にて勉強し、より専門的な支援の提供を目指しております。		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○					モニタリング、アセスメントにて保護者様からの情報を基に、検討会議にて職員間で共有しながら計画を作成しています。		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	○					意向を盛り込んで作成しておりますが、今後信頼関係を築きながらよりスムーズに意向を吸い上げられるよう努めてまいります。		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					○	保育所等訪問支援ガイドラインに基づき支援内容を設定していますが、分かりにくい部分がありましたので、今後保護者様にも分かりやすく具体的に設定できるよう検討いたします。		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。					○	計画に沿って支援しておりますが、分かりにくい部分があり申し訳ございませんでした。今後保護者様にもわかりやすくお伝えしながら、お子様の成長や課題に沿った支援を行ってまいります。		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	○					訪問先と日程調整をする際、訪問先の育に差支えないよう、活動内容を把握した上で訪問しております。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。				○		運営規定等につきましては契約時に説明させていただいておりますが、不明な点がありましたら随時お声掛けください。		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。				○		利用前（契約時）に保育所等訪問計画を基に支援内容の説明を行い、その後毎月、半年後と見直しを行っておりますが、十分なかった部分があり申し訳ございませんでした。今後十分に説明させていただきます。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	○					今年度はペアレントトレーニングを開催し、年2回の家族会にて研修等を行っております。		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	○					今後とも日々お子様の状況を保護者様と共有させていただき、併用先と支援の統一を図ってまいります。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					年2回定期的な面談に加えて、随時必要な面談や助言等の支援を行っております。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					お子様の気持ちに共感した支援ができるよう、毎月療育研究会等の研修等で支援の姿勢を学んでおります。		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					相談があった際は、職員間で共有し最速な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に努められるよう努めます。		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					絵カードを用いて視覚的支援を行いながらお子様の意思を確認したり、保護者様とは申し送りや連絡帳等で情報伝達を行っております。		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	○					訪問先施設から相談があった際は随時対応し情報共有や必要な支援を行っております。		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	○				訪問後必ず訪問先の担当者様と情報共有の場を設け、支援の統一を図っております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	○				可能な限り保護者様にも同席していただき、難しい場合は訪問の同日中に保護者様に報告しております。今後ともタイムリーに保護者様と共有できるよう努めてまいります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○			先生方の業務が増え大変な中保護者が見ることが出来ない様子をお伝えいただきとてもありがたいと感じます。	保育所等訪問に関する情報や、自己評価の結果はホームページに掲載いたしますが、その他発信を増やせるよう検討していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○				個人情報に関しては厳密にて管理して保管しており、写真に関しても保護者様の同意を得て掲載しております。今後とも取り扱いは十分に注意してまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	○				日頃より訪問先施設と連携を図っていますが、より信頼関係を築くことで緊急時に対応出来るよう働き掛けてまいります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○				安全計画に沿って職員会様にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。
	27	子どもは訪問支援を嫌っていませんか。	○			喜んでます◎	訪問した際、お子様が訪問支援員を見つけ喜んで声を掛けてくれますので、嫌がる様子は見られていません。
	28	事業所の支援に満足していますか。	○			いつもお世話になっています。	今後とも職員体制を整えながら、定期的な訪問を目指してまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2026年 2月 27日	
クラス(保育所等訪問支援事業)		利用児童数			2名 回収数2	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	<input type="radio"/>				わかりやすい助言や説明ができるよう配慮してまいります。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	<input type="radio"/>				訪問回数を重ねながら専門的な知識を深めてまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	<input type="radio"/>				ご質問がございましたらいつでもお問い合わせください。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。			<input type="radio"/>	課題を共有し、連携を取ればよいと思います。	訪問回数が少なく、十分課題が共有できていない部分があり申し訳ございませんでした。今後は可能な限り訪問し連携を図らせていただきます。	
5 事業所からの支援に満足していますか。		<input type="radio"/>			支援に対して至らない点もありましたので、今後支援のスキルを上げて満足していただけるよう努めてまいります。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
いつもありがとうございます。今後も連携をとりながら子ども達の成長に沿った対応ができるようにしていきたいと思っております。				ご意見ありがとうございます。 今後保護者様のご意向も踏まえながら、定期的な訪問により、集団生活の中での的確な対応について共有させていただきたいと考えております。		

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	クラセ（保育所等訪問支援事業）		公表日	2026 年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		訪問支援に使用する教材は十分に揃えて使用しております。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切な配置数で訪問しており、お子様の状態に合わせて調整させていただいております。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		保育所等訪問支援計画を作成する際に検討会議にて目標を設定し、6か月ごとにアセスメント、モニタリングを行っております。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からいただいたご意見を基に業務改善が必要な場合は改善しております。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケース会議や検討会議によって意見を吸い上げ必要であれば業務改善を行っております。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	今年度は行っておりませんが、今後は検討してまいります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月1回療育研究会を実施し、療育について学び、職員の資質向上を図っております。その他内職研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保育所等訪問支援計画の作成前に保護者様にアセスメントを行い、検討会議にて分析し計画を完成させております。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		上記同様、作成時には職員・保護者様と検討会議を行い共通理解に努めております。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先の意向を盛り込んで作成しておりますが、今後も信頼関係を築きながらよりスムーズに意向を吸い上げられるよう努めてまいります。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画について検討会議で共有し、随時その後も職員間で確認し合いながら支援を行っております。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ガイドラインに基づいた書式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っております。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為の中で共有しています。また、計画の変更があった際も随時共有を行っております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼を行い全体の共有をした後、クラスごとに活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日クラスの職員全員で情報共有できないときは、次の日に必ず共有できるよう徹底しております。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		支援実施の際は、訪問先の活動内容等を詳しくお聞きし、保育の妨げにならないよう配慮しながら支援を行っております。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援後は報告書を作成し、保護者様にも同意をいただき他職員にも共有しております。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			訪問時に訪問先の意向をお聞きしたり、必要ならお電話で情報共有を行っております。保護者様には6か月に1回必ずモニタリングをしており、それ以外にも随時行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者を始め、実際支援を行っているクラスの担任も参加するよう徹底しております。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			随時必要な関係機関とは連携を図っていますが、まだ十分でない為今後は積極的に連携を図ってまいります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			小学校連綿会を開催し、療育施設へ来館していただいたり訪問等様々な方法で情報共有を行っております。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			ABA療育を取り入れたり、嘱託医による発達相談会を実施し保護者様の悩みや課題を共有したり質の向上を図っております。外部研修にも随時参加しております。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			自立支援協議会の子ども部会には法人代表で1名出席しており、内容は共有しております。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			面談、申し送り、連絡帳、お電話等で保護者様とお子様の状況や課題について情報共有を行っております。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今年度ペアレントトレーニングを行い、家族支援に繋げることが出来ております。また、家族会にて研修会を行っております。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			訪問前に事業の趣旨や目的等について説明をしてから訪問するよう徹底しております。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			保護者様の様子や連絡帳での文面から悩んでいる様子が伺えた際は、お電話や面談にてお話を聞いています。また診断等出た際も面談にて結果をお聞きしております。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今後保護者様同士の交流が図れる機会(療育参観・茶話会等)を設けてまいります。	交流の場として、定期的に親子療育を実施、また年2回家族会を開催しております。今後イベント等を開催し交流の場を提供してまいります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう動いてまいります。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月1回行事予定表にて活動内容を発信しております。また随時ブログを更新し活動風景を発信しています。今後インスタグラムでの発信を検討しております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報厳正に管理して保管しております。また、写真の掲載については保護者様の同意を得たうえで掲載しております。今後引き続き引き続き注意してまいります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様には絵カードを中心に視覚的支援を取り入れています。	お子様には絵カードの視覚的支援を、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。
	訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		
38		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			訪問先の担任の先生とご都合が合えば保護者様を交えてカンファレンスを行っております。
39		保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			実施後、同日中に説明し、後日報告書にて再度共有しております。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報は冊子にて施設して保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しています。今後も引き続き注意してまいります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			相談があった際は随時対応していますが、今後さらに信頼関係を深め相談しやすい環境を作ってまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、それに沿った避難訓練、感染症の会議は毎月実施しております。	保護者様により分かりやすく周知していただけるよう、発信方法等検討してまいります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を作成し、随時ケース会議にて職員間で研修や訓練を行っております。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎週ヒヤリハットを所長会議資料に記載し、他部署とも共有しております。	ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所で毎月1回虐待防止委員会を開催し、気になるケースについて職員間で共有しております。	事業所の会議だけでなく、法人内の全体研修時にも虐待について取り上げております。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃらないです。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童支援計画書に記載しております。